

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

学年	教科名	国語	科目名	学校必履修	現代文B	単位数	2	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B(第一学習社)							
副教材	新訂国語図説五訂版、意味で覚える漢字トレーニング							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	「私」という「自分」 鷲沢 萌	○言葉を正しく辿って、筆者の考え方を正しく受け止めようと意識させる。 ○受け止めた筆者の考え方を正しく理解しようと努めさせる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	24
	5				
	6	調律師のるみ子さん いしい しんじ	○登場人物の行動をしっかりと押さえようと意識させる。 ○心情についての説明にしっかりと向き合わせる。		
	7	デューク 江國 香織	○登場人物の言動の持つ意味合いを考えさせる。 ○登場人物の心情をしっかりと受け止めようと意識させる。		
2 学期	9	新しい地球観 毛利 衛	○書き記されている文言を正しく受け止めようと意識させる。 ○説明されている事柄をしっかりと理解しようと意識させる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	28
	10	こころ 夏目 漱石	○登場人物の言動と心の動きをきちんと辿らせる。 ○登場人物の言動が相手にどう受け止められるかをつかませる。 ○登場人物の言動の意味を考えさせる。		
	11				
	12	コミュニケーションの文化 平田 オリザ	○書き記されている主張を正しく理解させる。 ○自分の身近な問題として考えさせる。		
3 学期	1	相棒 内海 隆一郎	○登場人物の言動を辿り、心情の推移をつかませる。 ○登場人物の言動から、自らの生き方を振り替えらせる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	18
	2	名所絵はがきの東西 高階 秀爾	○書き記されている主張を正しく理解させる。 ○文化について考えさせる。		
	3	永訣の朝 宮沢 賢治	○言葉を丁寧に辿り、心情を読み味わわせる。		

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	国語	科目名	必修選択 古典A	単位数	2	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 標準 古典A 物語選 (第一学習社)						
副教材	新訂国語図説五訂版・イラストで覚えるLook@古文単語337・読解を大切にする要点プラス体系古典文法						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	「十訓抄」(文字一つの返し)	<ul style="list-style-type: none"> ○文語文法を復習し、文法の知識を定着させる。 ○文語文法の理解を文章読解につなげる。 ○話の展開や登場人物の心理を的確に把握する。 ○古典の文学史的な知識を増やす。 ○漢文の基礎知識(返り点・訓読・置き字・再読文字)を復習し、知識を定着させる。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	22
	5	「竹取物語」(かぐや姫の昇天)			
	6	「助長」「嬰逆鱗」			
	7	「画竜点睛」「推敲」			
2 学期	9	「伊勢物語」(初冠) 「徒然草」(序段)	<ul style="list-style-type: none"> ○古典の有名な作品に触れ、名文の美しさを味わう。 ○助動詞表と照らし合わせ、助動詞の意味を正確に理解できるようにする。 ○重要古語を中心に古語の語彙を増やす。 ○有名な古典の文学史的な知識を身につける。 ○漢文を音読し、独特のリズムを味わう。 ○話の展開や登場人物の心理を的確に把握する。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	26
	10	「方丈記」(ゆく川の流れ) 「枕草子」(春はあけぼの)			
	11	「史記」(鴻門之会)			
	12	「史記」(四面楚歌)			
3 学期	1	「大鏡」(弓争ひ)	<ul style="list-style-type: none"> ○古文の有名な作品に触れ、登場人物の心情や時代背景を読み取る。 ○重要古語を中心に古語の語彙を増やす。 ○有名な古典の文学史的な知識を身につける。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	10
	2	「源氏物語」(光る君)			
	3	「源氏物語」(若紫)			

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	国語	科目名	必修選択 古典B	単位数	4	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 標準 古典B (第一学習社)						
副教材	新訂国語図説五訂版・イラストで覚えるLook@古文単語337・読解を大切にする要点プラス体系古典文法						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	「十訓抄」(文字一つの返し) 「竹取物語」(かぐや姫の昇天)	○文語文法を復習し、文法の知識を定着させる。 ○話の展開や登場人物の心理を的確に把握する。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	43
	5	「伊勢物語」(初冠)	○文中の和歌に登場人物の思いがどのように表現されているか考える。		
	6	「徒然草」(序段) 「方丈記」(ゆく川の流れ)	○古典の文学史的な知識を増やす。 ○漢文の基礎知識(返り点・訓読・置き字・再読文字)を復習し、知識を定着させる。		
	7	「助長」「嬰逆鱗」 「画竜点睛」「推敲」「朝三暮四」			
2 学期	9	「古今和歌集」(仮名序) 「枕草子」(春はあけぼの)	○古典の有名な作品に触れ、名文の美しさを味わう。 ○助動詞表と照らし合わせ、助動詞の意味を正確に理解できるようにする。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	47
	10	「平家物語」(能登殿の最期) 「大鏡」(弓争ひ)	○重要古語を中心に古語の語彙を増やす。 ○作者の美の基準を理解し、機知の面白さを味わう。		
	11	「源氏物語」(光る君) 「源氏物語」(若紫)	○話の展開や登場人物の心理を的確に把握する。		
	12	「十八史略」(背水之陣)	○有名な古典の文学史的な知識を身につける。		
3 学期	1	「無名草子」(清少納言・紫式部) 「史記」(鴻門之会)	○古文の有名な作品に触れ、登場人物の心情や時代背景を読み取る。 ○重要古語を中心に古語の語彙を増やす。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	29
	2	「史記」(四面楚歌) 「十八史略」(水魚之交)	○漢文を音読し、独特のリズムを味わう。		
	3		○有名な古典の文学史的な知識を身につける。		

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

学年	教科名	国語	科目名	作文・小論文 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	文章トレーニングノート(第一学習社)						
副教材	自作課題を随時使用する						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	正しい文章の書き方を学ばせる。	原稿用紙の使い方、言葉の使い方、文の結構、表記の仕方を正しくできるようにしていく。 意図に沿って文章を書けるようにしていく。	提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	24
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	文章を適切に要約する。 テーマに沿って物事を深く考える。 テーマに合わせて内容の濃い文章を書いていく。	文章を要約する力を養うことにより、主題を的確に把握し、適切な仕方相手に伝えることができるようにする。 テーマをより深くとらえて、より内容の濃い文章が書けるようにする。 自分の思うところを思うとおりに表現する力を伸ばしていく。	提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	28
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	テーマに合わせて内容の濃い文章を書いていく。	テーマに沿って思考を深め、内容が濃く、読み手にしっかりと伝わる文章を書けるようにする。	提出課題の内容、授業中の取り組みにより、それぞれの理解度、到達度、意欲を測り、総合的に評価する。	18
	2				
	3				

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	地理歴史科	科目名	必修 日本史B	単位数	3	担当者名
教科書	改訂版 高校日本史B(山川出版社)						
副教材	図説 日本史通覧(帝国書院)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	近現代を学習する前に～原始～	旧石器～弥生時代までの概要を理解する。	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	36
	4	近現代を学習する前に～古代～	古墳～平安時代までの概要を理解する。		
	4	近現代を学習する前に～中世～	鎌倉～室町時代までの概要を理解する。		
	5	近現代を学習する前に～近世～	安土桃山～江戸時代までの概要を理解する。		
	5・6	開国と幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀末以降における、外国船の日本接近の背景と日本開国の過程について理解する。 ・開国が日本に与えた影響について理解する。 ・尊王攘夷運動から倒幕運動へと転換した過程について理解する。 		
	6	明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府発足の過程と、その仕組みについて理解する。 ・政府の数々の改革の背景と影響について理解する。 ・明治初期の対外関係について理解する。 		
	7	立憲国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法制定の過程について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の内容を比較し、その特色についてそれぞれ理解する。 		
2 学期	9	大陸政策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正の過程について理解する。 ・日清戦争・日露戦争の過程・影響について理解する。 	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	42
	9	近代産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の過程と、日本に与えた影響について考察する。 		
	10	第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の過程と、日本に与えた影響について理解する。 ・戦後の世界秩序の変化について理解する。 		
	10	政党政治と大衆文化	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本経済について理解する。 ・第二次護憲運動の過程を理解する。 		
	11	恐慌の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌の過程について理解する。 ・昭和恐慌の過程について理解する。 		

	11 ・ 12	軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変の過程について理解する。 ・政党内閣崩壊の過程について理解する。 ・二・二六事件の過程について理解する。 		
3 学 期	1	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争の過程について理解する。 ・第二次世界大戦の過程について理解する。 ・戦争が国民生活に与えた影響について理解する。 ・日本の敗戦までの過程を理解する。 	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	27
	2	占領下の改革と主権の回復	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の世界秩序の変化について理解する。 ・五大改革指令の内容と、それによる国民生活の変化について理解する。 ・冷戦の過程について理解する。 		
	3	55年体制と高度経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制成立の過程について理解する。 ・独立後、日本が各国と結んだ条約の内容について理解する。 ・高度経済成長の過程と、それによる国民生活の変化について理解する。 		

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	地歴	科目名	世界史B 必修選択	単位数	4	担当者名
教科書		世界史B(実教出版)					
副教材		世界史のミュージアム(とうほう)					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	帝国主義、アフリカ分割	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の内容について理解する。 ・アフリカの植民地化とそれに伴うヨーロッパ列強の関係の変化について考察を深める。 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	48
	5	アジアの植民地化	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・インド・東南アジアなどが植民地化されていく過程について理解する。 	授業への取組み状況 定期考査の点数など	
	5	第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の勃発にいたる過程について考察を深める。 ・第一次世界大戦が総力戦であったことを理解する。 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	6	ヴェルサイユ体制と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動きについて理解する。 ・第一次大戦後のアジア各地の民族運動などについて理解する。 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	6	世界恐慌とファシズム	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とその影響について理解する。 	授業への取組み状況	
	7	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の勃発に至る経緯について理解する。 ・日中戦争について考察を深める。 ・第二次大戦の戦後処理と冷戦の始まりについて理解する。 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	9	冷戦時代の国際関係	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦時代の国際関係について考察を深める。 ・冷戦時代のアメリカ・西ヨーロッパについて理解する。 ・冷戦時代のソ連・東ヨーロッパについて理解する。 ・アフリカの独立、アジア各国の独立について理解する。 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	10	多極的国際社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ・中東問題について理解する。 ・ソ連の崩壊と中国の成長について理解する。 ・世界各地の民族問題等につい 	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	

2 学期			て理解を深める。		56
	11	古代オリエント	・文字・言語・宗教がどのように生まれてきたのかを理解する。	授業への取組み状況	
	11	古代ギリシア	・民主政やオリンピックなど現代にも受け継がれているものがどのようにして生まれてきたのか理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	11	古代ローマ	・ローマが地中海を中心とする世界帝国に発展し、その領域を維持できたのかを考察する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	12	中国文明	・中国文明が黄河・長江流域に形成されたことを知る。 ・諸子百家の思想、秦の中国統一、漢帝国の発展等について理解する。 ・隋・唐帝国について理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
3 学期	1	イスラム世界の広がり	・イスラム教についての理解を深める。 ・イスラム帝国の成立について理解する。 ・イスラム教の拡大について理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	36
	1	ヨーロッパ世界の形成と展開	・ゲルマン人の移動からフランク王国の発展までの歴史を理解する。 ・封建社会の成立と崩壊について理解を深める。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	2	中世ヨーロッパ世界	・教皇権の伸長と衰退、王権の伸長について理解する。 ・ビザンツ帝国とギリシア正教世界について理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	2	古代インド	・仏教、ヒンドゥー教の特徴について理解する。 ・古代インドの統一王朝について理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	3	中央ユーラシア世界	・中央ユーラシア世界に興亡した諸民族と、モンゴル帝国について理解する。	授業への取組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 名	数学	科 目 名	数学B 必修選択	単 位 数	2	担当者名
教科書	改訂版 高等学校 数学B (数研出版)						
副教材	改訂版 教科書傍用 基本と演習 テーマ数学Ⅱ+B(数研出版)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数			
1 学 期	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 (1) ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの概念を理解する。 ・ベクトルの和、差、逆ベクトル、零ベクトルについて理解する。 ・ベクトルの加法、減法、実数倍の計算を理解できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 ・座標平面上の点とベクトルの成分の関係について理解する。 ・図形の性質をベクトルで表現して扱う。 ・内積の持つ図形的な意味を探ろうとする。 ・成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。 ・線分の内分点、外分点を位置ベクトルで表す公式を理解して利用できるようにする。 ・図形に関する位置ベクトルを定めて、図形を考察する。 ・ベクトルの分解の一意性を理解して計算に利用することができる。 ・線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表現して考察する。 ・直線のベクトル方程式を理解して媒介変数処理ができるようにする。 ・直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線、円の方程式と関連付ける。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	24			
	5	(2) ベクトルの演算 (3) ベクトルの成分 (4) ベクトルの内積						
	6	第2節 ベクトルと平面図形 (5) 位置ベクトル						
	7	(6) ベクトルの図形への応用 (7) 図形のベクトルによる表示						
	9	第2章 空間のベクトル (1) 空間の点				<ul style="list-style-type: none"> ・空間における図形を、図や座標を利用して示す。 ・空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えられるようにする。 ・空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察する。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 ・ベクトルの内積を平面から空間へ拡張して考察できる。 ・成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	28
	10	(2) 空間のベクトル (3) 空間の成分 (4) 空間の内積 (5) ベクトルの図形への応用 (6) 座標空間における図形						
	11	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 (1) 数列と一般項						
12	(2) 等差数列 (3) 等差数列の和							

2 学 期			<ul style="list-style-type: none"> ・2点間の距離の公式を理解できる。 ・空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標などを考察する。 ・球面の方程式に興味を持ち、一般的な考察をする。 ・球面の方程式から中心、半径を読み取る。 ・数列の定義、表記について理解できる。 ・数の並び方から、その規則性を推定して、数列の一般項を考察する。 ・等差数列の公差、一般項などを理解できる。 ・等差中項の性質に興味を持ち、問題解決に取り組もうとする。 ・等差数列の和の公式を適切に利用でき、和、差の最大値を求めることができる。 ・自然数の和、奇数の和、倍数の和などを求めることができる。 		
3 学 期	1 2 3	(4) 等比数列 (5) 等比数列の和 第2節 いろいろな数列 (6) 和の記号 Σ (7) 階差数列 (8) いろいろな数列の和 (9) 漸化式 (10) 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の隣接項の関係を考察し、公比、一般項などを理解できる。 ・等比中項の性質に興味を持ち、問題解決に取り組もうとしている。 ・等比数列の和の公式を適切に用いて数列の和を求めることができる。 ・等比数列の和から数列の一般項を求めることができる。 ・身近な数である自然数の平方や立方の和の公式を求めることができる。 ・記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和を求めることができる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 ・数列の和と第n項の関係を理解し、数列の一般項を求めることができる。 ・漸化式の意味を理解し、具体的に項を求めることができる。 ・数学的帰納法を利用して、様々な事柄を証明できることに興味を持つ。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	18

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	数学	科目名	学校必修 数学Ⅱ	単位数	4	担当者名
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版)						福地 (Aクラス) 栗田 (Bクラス) 黒木 (Cクラス)
副教材	基本と演習テーマ数学Ⅱ+B						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	第1章 式と証明 第1節 式と計算 (1) 3次式の展開と因数分解 (2) 二項定理 (3) 整式の割り算	3次式の展開公式を用いて計算することができる 3次式の因数分解の公式を用いて計算することができる 整式を整式で割り算し、商と余りを求めることができる	知識・技能・関心・意欲・態度	48
	5	(4) 分数式とその計算 (5) 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 (6) 等式の証明 (7) 不等式の証明	分数式の計算をすることができる 恒等式の性質を理解することができる 等式が成り立つことを証明することができる 不等式が成り立つことを証明することができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
	6	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 (1) 複素数その計算 (2) 2次方程式の解 (3) 解と係数の関係	複素数の概念を理解し、複素数の計算をすることができる 解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる 解と係数の関係を理解することができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
	7	第2節 高次方程式 (4) 剰余の定理と因数分解 (5) 高次方程式	剰余の定理を理解することができる 高次方程式を解くことができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
2 学期	9	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 (1) 直線上の点 (2) 平面上の点 (3) 直線の方程式 (4) 2直線の関係 第2節 円 (5) 円の方程式 (6) 円と直線 (7) 2つの円 第3節 軌跡と領域 (8) 軌跡と方程式 (9) 不等式の表す領域	直線上での内分点・外分点を求めることができる 平面上での2点間距離、内分点・外分点を求めることができる 直線の方程式を求めることができる 2直線の平行・垂直の条件を理解することができる 円の方程式を求めることができる 円と直線の位置関係を理解することができる 2つの円の位置関係を理解することができる 座標平面上の点の軌跡を求めることができる 該当する領域を図示することができる	知識・技能・関心・意欲・態度	56
	10	第4章 三角関数 第1節 三角関数 (1) 角の拡張 (2) 三角関数 (3) 三角関数のグラフ (4) 三角関数の性質 (5) 三角関数の応用	角の範囲を一般角まで拡張して考えることができる 三角関数の値を求めることができる グラフの周期・振幅・対称性等の性質を理解することができる 相互関係の公式を用いて、三角関数の値を求めることができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
	11	第2節 加法定理 (6) 加法定理 (7) 加法定理の応用	加法定理を理解することができる 2倍角や反核の公式を理解することができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
		第5章 指数関数と対数関数			

	12	第1節 指数関数 (1) 指数の拡張 (2) 指数関数	指数法則を理解することができる 指数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる		
		第2節 対数関数 (3) 対数とその性質 (4) 対数関数 (5) 常用対数	指数と対数の関係を理解し、性質を理解することができる 対数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる 常用対数表を用いて、桁数を求めることができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
3 学 期	1	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 (1) 微分係数 (2) 導関数とその計算 (3) 接線の方程式	平均変化率や極限值、平均変化率を求めることができる 公式を用いて関数の導関数を求めることができる グラフ上の点を通る接線を求めることができる	知識・技能・関心・意欲・態度	36
		第2節 関数の値の変化 (4) 関数の増減と極大・極小 (5) 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法 (6) 不定積分 (7) 定積分	増減表を描き、グラフの増減を調べることができる グラフから関数の最大値・最小値を求めることができる 不定積分を求めることができる 定積分を求めることができる	知識・技能・関心・意欲・態度	
	3	(8) 定積分と面積	定積分の図形的な意味を理解することができる		
	1年間のまとめ				

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	理科	科目名	必修 物理基礎	単位数	2	担当者名
教科書	高等学校 改訂 新物理基礎(第一学習社)						
副教材	ネオバルノート物理基礎(第一学習社)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 1. 速さ 2. 速度 3. 等速直線運動 4. 合成速度と相対速度	(1) 変位・速度の関係について、科学的に理解する意欲をもって学習に取り組む。 (2) 物体の運動を表す変位や速度を、その公式からとらえ表現でき理解できる。 (3) 速度の合成や、相対速度を判断し理解できる。 (4) 等速直線運動のx-t図とv-t図を表現できる。	関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査、ノート・ワーク提出 技能：実験に対する取り組み、実験プリント提出、探究活動に対する取り組みと提出物 知識・理解：小テスト、定期考査	24
	5	5. 加速度 6. 等加速度直線運動① 7. 等加速度直線運動②	(1) 加速度に関心を持つ。 (2) 等加速度直線運動のある時刻における速度と位置についての公式を判断し、理解できる。 (3) 等加速直線運動のx-t図とv-t図を表現できる。		
	6	8. 自由落下 9. 鉛直投射 10. 放物運動	(1) 自由落下に関心を持ち、物体の落下距離の測定から落下時間を記録しその過程を整理する。 (2) 鉛直投射を判断し表現できる。 (3) 放物運動に関心を持つ。		
	7	第2節 力と運動の法則 1. 力と質量 2. いろいろな力 3. 力の合成・分解と力のつりあい 4. 慣性の法則 ～運動の第1法則～ 14. 作用・反作用の法則	(1) 力がはたらくときの物体に及ぼす影響について関心を持ち、物体にはたらく力を判断し的確に表現する。 (2) 物体が異なる方向に複数の力を受けるとき、その力のはたらくきについて意欲的に探究しようとする。 (3) 力の合成・分解、つりあいを表現する。 (4) 作用・反作用とつりあう2力との違いを判断し理解する。 (5) 慣性や慣性の法則に関心を持つ。		
	9	5. 力と質量と加速度の関係 6. 運動の法則 ～運動の第2法則～ 7. 作用・反作用の法則 ～運動の第3法則～ 8. 摩擦力 9. 運動方程式の利用(1) 10. 運動方程式の利用(2)	(1) 力、質量、加速度の関係より、運動方程式を表現できる。 (2) 運動方程式に関心を持ち、その利用法を意欲的に習得しようとする。 (3) 物体にはたらくすべての力を図示し、運動方程式を判断できる。 (4) 探究活動を通じて、力と運動に関する法則性を記録・整理する。		
2 学期	9	第II章 エネルギー 第I節 仕事と力学的エネルギー 1. 力がする仕事 2. 仕事の原理と仕事率 3. 運動エネルギー 4. 位置エネルギー	(1) 物体のもつ運動エネルギーと物体にする仕事との関係を判断し表現する。 (2) 運動エネルギー、位置エネルギーを理解する。	関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査、ノート・ワーク提出 技能：実験に対する取り組み、実験プリント提出、探究活動に対する取り組みと提出物 知識・理解：小テスト、定期考査	28
	10	5. 力学的エネルギー保存の法則 6. いろいろな運動と力学的エネルギー	(1) 重力や弾性力だけが仕事をする場合、力学的エネルギーが保存されることを理解する。 (2) 摩擦力などの力がした仕事の量だけ力学的エネルギーが変化することを理解する。		
	11	第IV章 電気 第1節 電荷と電流 1. 電荷 2. 電流と電気抵抗 3. 物質と抵抗率 4. 直流回路	(1) 電流と電圧、抵抗の関係に関心を持つ。 (2) 抵抗に電流が流れるときの電圧と電流の関係を表現する。 (3) オームの法則、抵抗率など、抵抗の性質の基本的な内容を理解する。 (4) 抵抗の接続による合成抵抗を表現し、電圧計、電流計の接続について理解する。 (5) ジュール熱、電力、電力量の関係をオームの法則と関連して理解する。		

	12	<p>第2節</p> <p>1. 磁場</p> <p>2. 交流の発生と利用</p> <p>3. 電磁波</p> <p>第3節 エネルギーとその利用</p> <p>1. 太陽エネルギーの利用</p> <p>2. 原子力エネルギー</p>	<p>(1) 日常生活には、電気が関わっていることを意欲的に探究し、モーターや発電機を通じて電流と磁場の関係に関心を持つとする。</p> <p>(2) モーターや発電機のしくみを学習し、電流と磁場の関係を判断する。</p> <p>(3) 直流電流と交流電流の波形をオシロスコープを用いて観察する。</p> <p>(1) 電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について関心を持つ。</p> <p>(2) 放射能と放射線の意味、放射線量の単位について表現する。</p>	
3 学 期	1	<p>第III章</p> <p>第1節 波の性質</p> <p>1. 波と振動</p> <p>2. 波の表し方</p> <p>3. 波の重ね合わせ</p> <p>4. 定常波</p> <p>5. 波の反射</p>	<p>(1) 身のまわりのさまざまな波について興味や関心を持つとする。</p> <p>(2) 波の重ねあわせを表現できる。</p> <p>(3) 固定端、自由端のそれぞれにおける波の反射を判断できる。</p> <p>(4) 横波と縦波が伝わるようすを観察し、波の伝わり方とそれぞれの波を表現する。</p> <p>(5) 定常波、波の反射などの現象を理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査、ノート・ワーク提出 技能：実験に対する取り組み、実験プリント提出、探究活動に対する取り組みと提出物 知識・理解：小テスト、定期考査</p>
	2	<p>第2節 音波</p> <p>1. 音の速さと3要素</p> <p>2. 波としての音の性質</p> <p>3. 弦の固有振動</p> <p>4. 気柱の固有振動</p>	<p>(1) ギターやトランペットなど、音の伝わるようすや音の性質について意欲的に探究し、音が波であることを判断する。</p> <p>(2) うなりの発生するしくみを観察し、うなりの現象を理解する。</p> <p>(3) 弦の振動や気柱の共鳴を判断し、音が強めあう振動数や、弦、気柱の長さなどを表現し理解する。</p>	
	3	<p>第II章 エネルギー</p> <p>第2節 熱とエネルギー</p> <p>1. 温度と熱運動</p> <p>2. 熱と熱平衡</p> <p>3. 熱と仕事</p> <p>4. エネルギーの変換と保存</p>	<p>(1) 身の回りにある温度と熱について意欲的に探究する。</p> <p>(2) セルシウス温度と絶対温度を表現する。</p> <p>(3) 熱の移動について判断し、外部と熱のやり取りがないとき、熱量が保存されることを理解する。</p> <p>(4) 仕事によって、運動エネルギーは熱に変換されることを表現する。</p> <p>(5) 熱効率を表現し、可逆変化と不可逆変化それぞれの現象を理解する。</p>	
				18

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 科名	理科	科 目 名	必修選択 化学	単 位 数	4	担当者名
教科書	『実教出版 新版 化学』新訂版						
副教材	『実教出版 サイエンスビュー 化学総合資料』 『第一学習社 セミナー化学基礎+化学』						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学 期	4	電池と電気分解 電池	電池、電気分解のしくみについて理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能 知識・理解	48
	5	電気分解 物質の状態と平衡 状態変化 物質の構造と融点・沸点 状態間の平衡と熱運動	物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。 蒸気圧について学習し、気体の圧力や沸騰が起こるしくみについて理解する。	ノート 定期考査 実験レポートなど	
	6	気体の性質 ボイル・シャルルの法則 気体の状態方程式 固体の構造 結晶の構造 アモルファス	気体の圧力、温度、体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。 気体の状態方程式を用いて、分子量などの求め方を理解できる。 結晶の構造とその種類について理解する。 結晶とアモルファスの違いについて理解する。		
	7	溶液 溶液 溶解度 希薄溶液の性質 コロイド溶液	溶解のしくみについて確認する。 物質が溶解する量には限界があり、それを溶解度とよぶことを理解する。 溶液の性質には、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧があることを理解する。 コロイド溶液と真の溶液の違いを理解する。また、実験などを通して、コロイド溶液の性質を理解する。		
	9	無機物質 非金属元素 周期表と元素の性質 水素と希ガス ハロゲン(17族)とその化合物	周期表における各元素の位置を確認する。 水素の製法と性質について理解する。 貴ガスの性質について理解する。 ハロゲンの単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能 知識・理解 ノート	

2 学 期	10	酸素・硫黄(16族)とその化合物	酸素・硫黄の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。	定期考査 実験レポートなど	56
		窒素・リン(15族)とその化合物	窒素・リンの単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。		
		炭素・ケイ素(14族)とその化合物	炭素・ケイ素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。		
		金属元素			
		アルカリ金属とその化合物	アルカリ金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。		
		アルカリ土類金属とその化合物	アルカリ土類金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。		
		1,2族以外の典型元素とその化合物	1, 2族以外の典型元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。		
	遷移元素とその化合物	遷移元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。			
	金属イオンの分離と確認	金属イオンの特有の反応について学び、金属イオンの分離方法を理解する。			
	11	有機化合物		アルカン、アルキン、アルケン の構造や一般式、性質、反応を知るとともに、異性体の存在を理解する。 酸素を含む脂肪族炭化水素の性質、反応を理解する。	
脂肪族炭化水素					
飽和炭化水素 不飽和炭化水素 酸素を含む脂肪族炭化水素					
12	有機化合物の特徴と構造		有機化合物の化学式を決めるための一連の手順を理解する。 ベンゼン環を基本骨格とする芳香族炭化水素は、脂肪族炭化水素とは異なる性質をもつことを理解する。		
	元素分析				
	芳香族化合物 芳香族炭化水素				
3 学 期	1	酸素を含む芳香族化合物	フェノール類、芳香族カルボン酸の性質、反応について理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能 知識・理解	
		窒素を含む芳香族化合物	アニリンの製法、性質、反応を学び、また、アニリンからアゾ染料が合成されることを理解する。		
		混合物の分離	有機化合物の混合溶液から、各化合物を分離する方法を理解する。		
	2	高分子化学		ノート 定期考査 実験レポートなど	
		天然高分子化学の分類と特徴	高分子化合物の分類と特徴、そのでき方について理解する。		
		合成高分子化学			
		糖類 タンパク質 核酸	糖類について、その代表的な物質の構造、性質、存在例などを理解する。 タンパク質について、その代表的な物質の構造、性質、存在例などを理解する。 核酸について、その構造を理解する。また、DNAとRNAの生体内での役割を理解する。		
3	物質の変化と平衡 化学反応と熱・エネルギー			36	

	エネルギーの変換と保存	化学反応において、反応の前後で物質がもつエネルギーの差が様々なエネルギーとして放出されることを理解する。	
	化学反応と熱エネルギー	熱化学方程式を書けるようにする。また、ヘスの法則を理解する。	
	化学反応と光エネルギー	化学反応において、光が関与する反応について理解する。	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	理科	科目名	生物 必修選択	単位数	4	担当者名
教科書	スタンダード生物(東京書籍)						
副教材	ニューステージ生物図表(浜島書店) Let,s Try Note 生物 Vol.1(東京書籍) Let,s Try Note 生物 Vol.2(東京書籍)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	1 生命現象と物質 (1) 生体物質と細胞	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造について理解し、それぞれの細胞内にある細胞小器官の構造とはたらきを理解する。 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	48
	5	(2) 生命現象を支えるタンパク質 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質の基本構造について理解する。 ・酵素タンパク質の性質を理解する。 ・輸送や情報伝達にかかわるタンパク質について理解する。 		
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫と適応免疫ではたらくタンパク質について理解する。 ・自己と非自己を認識するタンパク質と、その影響を理解する。 ・免疫グロブリンについてその働きを説明できる。 		
	7	期末考査 (3) 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・生体内の代謝には同化と異化があり、代謝にはエネルギーの出入りがともなうことを理解する。 ・呼吸は生命活動に必要なATPを生成する反応であることを理解し、呼吸の過程の概要を説明できる。 		
2 学期	9	(3) 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・発酵と解糖について、その流れを知る。 ・光合成は光エネルギーを利用して炭酸同化を行うことを理解し、過程の概要を説明できる。 ・細菌も光合成や化学合成を行っていることを知り、その他、細菌による窒素同化などの合成過程が行われていることを理解する。 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	56
	10	中間考査			
	11	2 遺伝子のはたらき (1) DNAの構造と複製 (2) 遺伝情報の発現 (3) 遺伝子の発現調節	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造と複製方法を理解する。 ・遺伝子の発現の流れを理解し、セントラルドグマについて説明できる。 ・遺伝子の発現は調節されていることを理解する。 		
	12	期末考査 (4) バイオテクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジーの基本的な方法を理解する。 ・PCR法の仕組みを説明できる。 ・バイオテクノロジーの課題を知る。 		
3 学期	1	3 生殖と発生 (1) 多様な個体が生じる有性生殖	<ul style="list-style-type: none"> ・有性生殖の有用性を理解し、減数分裂の仕組みを知る。 ・染色体と遺伝子の関係を理解し、減数分裂により多様性が生じることが分かる。 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	36
	2	(2) 動物の発生 (3) 動物の発生のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・受精の過程を理解する。 ・ウニやカエルの発生を理解し、発生の基本的な仕組みを知る。 ・動物の発生において、体軸形成や肺葉分化の仕組みを理解する。 ・誘導の連鎖により器官形成が行われていることを理解する。 ・ホメオティック遺伝子の存在とのはたらきを理解する。 		
	3	学年末考査 (4) 植物の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・被子植物の生殖と発生の基本を理解する 		

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

学年	教科名	保健体育	科目名	必修 体育	単位数	3	担当者名
教科書	現代高等保健体育						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト	
		ダンス	基本的なステップを身につける。	各種計測 練習や試合での成果	
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	学習ノート	
		ダンス 水泳(背泳ぎ・バタフライ)	特有の表現や踊りを身につける。 基本的な技術を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察	
7	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	安定したペースで泳ぐことができるようにする。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
2 学期	9	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況	42
		球技(バレーボール)	基礎的な技術を習得する。	授業への取り組み・参加態度	
		球技(サッカー)		【知識・技能】 技能テスト	
	10	球技(ソフトボール)	基礎的な技術を習得する。	各種計測	
		球技(バレーボール)	集団的な技術を習得する。	練習や試合での成果	
		球技(バスケットボール)		学習ノート	
11	球技(サッカー)	集団的な技術を習得する。	【思考・判断・表現】 学習ノート		
	球技(バレーボール)	試合を展開できるようにする。	観察		
	球技(バスケットボール)	試合を展開できるようにする。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
12	陸上競技(長距離走)	基本的な技術を身につける。			
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	27
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【知識・技能】 技能テスト 各種計測 練習や試合での成果	
	3	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	学習ノート 観察 以上の3つの観点を総合的に判断する。	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

学年	教科名	保健体育	科目名	必修 体育	単位数	3	担当者名
教科書	現代高等保健体育						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト	
		球技(テニス)	基本的な技術を身につける。	各種計測 練習や試合での成果	
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	学習ノート	
		球技(テニス) 水泳(背泳ぎ・バタフライ)	攻防を展開できるようにする。 基本的な技術を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察	
7	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	安定したペースで泳ぐことができるようにする。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
2 学期	9	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】	42
		球技(ハンドボール)	基礎的な技術を習得する。	出席状況	
		球技(サッカー)		授業への取り組み・参加態度	
		武道(柔道)	投げ技を習得する。	【知識・技能】	
	10	球技(ハンドボール)	集団的技術を習得する。	技能テスト	
		球技(サッカー)		各種計測 練習や試合での成果	
11	武道(柔道)	連絡技・変化技を習得する。	学習ノート		
	球技(ハンドボール) 球技(サッカー)	試合を展開できるようにする。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察		
12	陸上競技(長距離走)	基本的な技術を身につける。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	27
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【知識・技能】 技能テスト	
	3	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	各種計測 練習や試合での成果 学習ノート 観察	
				【思考・判断・表現】 学習ノート 観察 以上の3つの観点を総合的に判断する。	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

学年	教科名	保健体育	科目名	必修	履修	保健	単位数	1	担当者名
教科書	現代高等保健体育								
副教材									

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	生涯を通じる健康	思春期における身体面、心理面、行動面などの変化を理解できるようにする。 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。 健康課題は、年齢や生活習慣などが関わり、加齢とともに、心身の機能や形態が変化することを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	12
	5	1 思春期と健康			
	6	2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康			
	7				
2 学期	9	7 高齢者のための社会的取り組み	高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できるようにする。 生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度を適切に活用することが必要であると理解できるようにする。 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐために、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	14
	10	8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策			
	11	社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策			
	12	4 環境衛生活動のしくみと働き			
3 学期	1		食品の安全性を確保することは、健康の増進にとって重要であり、食品の製造・加工・保存・流通などの各段階において、適切な管理が必要であることを理解できるようにする。 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	9
	2	5 食品衛生活動のしくみとはたらき 6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活			
	3				

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	芸術	科目名	音楽Ⅱ 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	MOUSA2						
副教材	ジュニアクラスの楽典問題集						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	1. 鑑賞 バレエやオペラに親しむ 2. 楽典 3. 歌唱(日本歌曲・芸術歌曲) 4. ボディーパーカッション	1. バレエやオペラの表現の特徴や文化的・歴史的背景について理解を深める。 2. 1年次の復習 3. 発音の特徴やリズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱する。 4. リズムの特徴を感じ取り、強弱や音色・テクスチャを意識して、表現を工夫しリズム・アンサンブルの楽しさを味わう	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト) 等	22
2学期	9 10 11 12	1 鑑賞 オーケストラの作品 2. 三線の弾き歌い 3. ミュージックベル 4. 楽典	1 西洋音楽史の学習を絡めながらそれぞれの音楽の特徴について理解を深める 2. 三線の音色や奏法の特徴表現上の効果との関わりを理解し表現を工夫して弾き歌いする 3. ミュージックベルの音色や奏法の特徴を生かしグループで選んだ楽曲を仕上げる 4. 音程・音階・和音 等	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト) 等	28
3学期	1 2 3	1. 鑑賞 作曲家の生涯と作品をたどる。 2. 器楽アンサンブル 3. 混声合唱	1. 作曲家の生涯や時代背景について学習しながらそれぞれの作品の特徴を聴き取り、理解を深める。 2. 各パートの役割や全体の響きを考えながら表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう 3. 各パートの役割や音楽を形づくっている要素を考えながら、表現を工夫して合唱に取り組む	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト) 等	20

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	芸術	科目名	美術Ⅱ	単位数	2	担当者名
教科書	高校生の美術Ⅱ 日本文教出版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール箱を描く 鉛筆デッサン ・時間と空間 アニメーション 背景画 	<p>透視図法を理解する。空間表現の豊かさを学ぶ。物の質感表現を学ぶ。</p> <p>自分らしい主題、描写ができる。遠近法を効果的に使い構図に工夫が出来る。</p>	<p>鉛筆の濃淡を利用し、物体をとりまく空間が表現できているか。</p> <p>物の質感を捉え表現できているか。形と陰影が捉えられているか。</p>	22
2学期	9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン 平面構成 アルミホイル ・彫塑 	<p>物や光の性質を観察し、工夫して構成、展開させる。</p> <p>立体として多面的に形態を捉える。彫刻作品の構造を理解し作品を制作する。</p>	<p>色彩の光の性質を理解し構成、展開させて彩色できているか。</p> <p>立体としての空間把握でき、表現の域まで達しているか。</p> <p>道具をうまく使えているか。</p>	28
3学期	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻 名前をデザインして彫る。 「石膏像を囲んで」 木炭デッサン 	<p>漢字の成り立ちを理解し、意匠としての篆刻の理解を深める。多くの作例から独自のデザイン、レイアウトを考えてみる。</p> <p>比率や形を合わせられる。明暗を使って、立体感や空間、動きを捉えられる。観察した細部の情報を画面に再現できる。</p>	<p>芸術と社会との関係性や文化について理解が深まったか。</p> <p>忍耐強く完成まで制作に集中できたか。石膏像の立体感を再現出来たか。比率や形をとる事が出来たか。</p>	20

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	芸術	科目名	書道Ⅱ	単位数	2	担当者名
			必修選択				
教科書	東京書籍 書道Ⅱ						
副教材	なし						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4月	書道Ⅰの学習内容を振り返りながら漢字の書体変遷について確認する。ペン字氏名の体裁良い書き方を確認する。	篆書が最古の書体であり楷書は最新の書体である事を踏まえて自分の名前を体裁良く書けるようにする。	プリント	2
		漢字の書の学習。典型的な篆書である小篆について学び、その特徴と用筆法を理解する。	秦の始皇帝が統一した文字が小篆である事を知り、水平な横画や逆筆蔵鋒の起筆の筆遣いに慣れる。	作品提出	2
	5月	いろいろな篆書として甲骨文、金文、大篆があることそれぞれの特徴的な線や造形を鑑賞し表現につなげる。	造形の面白さに気づかせる。刻まれた線なのか、鑄込まれた線なのか、その文字を記した道具についても考えさせたい。	作品提出	2
		甲骨文、小臣觶犧尊、石鼓文の特徴を捉えながら臨書する。	それぞれの古典の線を表現する為に最適な用筆法について考えさせる。	作品提出	2
	6月	典型的な隷書である八分隷の字形の特徴と用筆法について理解し、礼器碑、張遷碑を鑑賞し臨書する。	日常生活の中でも良く見かける書体である事に気付かせる。直筆と側筆を使った波たぐの筆遣いを習得する。	作品提出	4
		波磔のない隷書として開通褒斜道刻石を鑑賞し臨書する。木簡や竹簡を鑑賞し味わう。	木簡や竹簡を鑑賞する事で速書きのために隷書を簡略化した事が草書や行書の誕生に繋がった事に気付かせる。	作品提出	4
	7月	学習した篆書と隷書の古典の中から一つを選び、半切に二行書きで臨書作品に仕上げ上げる。	書体の特徴や字形を的確に捉えるだけでなく、行の中心や字粒を揃える等、作品全体のまとまりにも配慮する。	作品提出	4
2学期	9月	篆刻の学習。姓名印制作。印の歴史を学ぶ。自分の名前の五書体を字書を使って調べる。	字書を使って書体を調べるができるようにするとともに字書の中の書体を見分ける事ができるようにする。	プリント	6
	10月	篆刻の手順を理解する。デザインをいろいろ考えてデッサンを残した中から一つを原寸大の印稿に作成する。	配字の決まり事を理解する。篆書体を使う時は、ひとつの印の中に印篆と小篆が混ざる事がないようにする。	プリント	8
	11月	雁皮紙転写法で石印材に転写布字後運刀後補刀して印を完成させる。	印刀の使い方を習得する。印泥について理解する。印泥を使った押印の仕方を習	作品提出	8

期	月	仮名の書について鑑賞する。	行書と散らし書きの紙面構成を理解し臨書する。		6
	12月	今までの作品に押印して鑑賞する。	効果的な作品への押印位置について理解する。押印する事により作品の格が上がる事を感じとる。	作品提出	6
3 学 期	1月	仮名の書の学習。行書き、散らし書きの美について学習する。	行書きと散らし書きの紙面構成を理解し臨書する。	作品提出	6
	2月	創作の作品を制作する。	創作の手順に従い仮名の紙面構成で学んだ事を活かして創作する。	作品提出	4
		漢字仮名交じり書の学習。漢字と仮名の調和を学ぶ。	漢字を主体に、仮名交じりで書かれた名筆・古典を鑑賞し漢字と仮名の調和について理解する。	プリント	2
	3月	漢字と仮名の調和を学ぶ。	仮名を主体に、調和する漢字を考える。	プリント	4
創作の作品を制作する。		創作の手順に従い、漢字仮名交じりの書で学んだ技法を活かして創作する。	作品提出	4	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	英語	科目名	学校必履修 コミュニケーション英語II	単位数	3	担当者名
教科書	Power On English Communication II						
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK・スタディーノート/ ALL EARS Standard / 英単語ターゲット1200						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	Lesson1 Take a shot or not	関係代名詞What /現在完了進行形/It is ~that構文 写真を撮ることが記憶に与える影響について読み取る。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	36
	5	Lesson2 Ethical Fashion	助動詞+受け身/強調構文/SVO(疑問詞+to不定詞) エシカルファッション製品は何に配慮して作られているのかを読み取る	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	6	Lesson3 Landfill Harmonic	関係副詞where /過去完了形/使役動詞・原形不定詞 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちにもたらしている影響について読み取る。	外国語理解の能力 言語や文化についての知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
2 学期	9	Lesson4 Icons of Scotland	関係代名詞非制限用法/知覚動詞と現在分詞/apper+to不定詞 スコットランドの地理や文化を理解し、日本との関連について読み取る。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	42
	10	Lesson5 Japan's Secret Health Food	分詞構文/倍数表現/関係代名詞which/形式目的語 海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について読み取る。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	11	Lesson6 Vegetable Factories Lesson7 The Power of Color	進行形の受け身/It appears that~/未来完了形/譲歩を表す副詞節 野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点を読み取る。 同格の接続詞/前置詞+関係代名詞/関係代名詞whoseの制限用法 色の視覚的効果と、心理的効果について読み取る。	言語や文化についての知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
3 学期	1	Lesson8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	付帯状況を表すwith/while S be to have 過去分詞/助動詞have過去分詞 卓球選手の経歴や彼女たちが成功するために大切だと考えていることについて読み取る。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	27
	2	Lesson9 From Owning to Sharing	強調表現(助動詞による強調)/It is said that 節/形式目的語/過去完了進行形 シェアリングが日本や世界でどのように広まっているのかを読み取る。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
		Lesson10 Solar Cooking	be動詞+to不定詞/wish+仮定法過去/ 関係副詞where・whenの非制限用法 ソーラークッカーのメリットや活用例を読み取る。	言語や文化についての知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	英語	科目名	学校必修 英語表現Ⅱ	単位数	2	担当者名
教科書	NEW ONE WORLD						
副教材	NEW ONE WORLD Workbook						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4	UNIT1 Lesson1 Let me introduce our new ALT	現在形・過去形・現在進行形・過去進行形を含む文の理解と表現	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	24
		UNIT1 Lesson2 He has been playing tennis	完了形・完了進行形を含む文の理解と表現	外国語表現の能力	
	5	UNIT1 Lesson3 Getting to the bus terminal soon	未来表現(現在・現在進行・未来進行・未来完了)を含む文の理解と表現	外国語理解の能力	
		UNIT1 Lesson4 You had better talk to her now	助動詞would/used toを含む文の理解と表現	言語や文化についての知識・理解	
	6	UNIT1 Lesson5 What is being built in front of the station?	多様な受動態の構文が用いられた文の理解と表現	観察・ワークシート・小テスト	
		UNIT1 Lesson6 Do you mind my using your dictionary?	動詞＋目的語(不定詞)/動詞＋目的語(動名詞)を含む文の理解と表現		
	7	UNIT1 Lesson7 Let me take a look at it	使役動詞＋O＋原形不定詞、過去分詞、現在分詞を含む文の理解と表現		
2学期	9	UNIT1 Lesson8 Carelessly, He broke a window.	副詞・副詞句・副詞節を含む文の理解と表現	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	28
		UNIT1 Lesson9 I seldom go out on weekends	否定表現を含む文の理解と表現	外国語表現の能力	
	10	UNIT1 Lesson10 This book shows you how to make good choices.	疑問詞＋to不定詞や疑問詞節を含む文の理解と表現	外国語理解の能力	
		UNIT1 Lesson11 Is it amazing that Michael can solve problems.	形式上の主語itや、形式上の目的語itの構文を含む文の理解と表現	言語や文化についての知識・理解	
	11	UNIT1 Lesson12 No other student can play as well as he	原級や比較級を用いて表す最上級、絶対比較級の構文を含む文の理解と表現	観察・ワークシート・小テスト	
		UNIT1 Lesson13 Having never been to Okinawa	受身形・完了形の分詞構文、独立分詞構文を含む文の理解と表現		
	12	UNIT1 Lesson14 He answered whatever questions I asked	前置詞＋関係代名詞、複合関係詞、関係副詞を含む文の理解と表現		
3学期	1	UNIT1 Lesson15 I wish I had had more time	仮定法過去、仮定法過去完了を含む文の理解と表現	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	18
	2	UNIT1 Lesson16 It was on our Mother's birthday that...	強調構文、倒置構文、無生物主語を含む文の理解と表現	外国語表現の能力	
	3	Expression in Use 1	入港審査の場面で使用される英文の理解	外国語理解の能力	
		Expression in Use 2	電話での会話で使用される英文の理解	言語や文化についての知識・理解	
		Expression in Use 3	病院で診察を受ける場面で使用される英文の理解	観察・ワークシート・小テスト	

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	家庭	科目名	必修	家庭基礎	単位数	2	担当者名
教科書	新図説 家庭基礎(実教出版)							
副教材	生活学Navi(実教出版) 新図説 家庭基礎 学習ノート(実教出版)							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	第1編 人と関わって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解する。 ・今の自分を見つめる。 ・青年期の生き方について考える。 ・労働について考える。 ・共に働くことを考える。 ・さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・家族に関する法律について学習し、理解する。 	授業への取り組み 提出物	24
	5	第2章 子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものからだど心の発達について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・子どもの成長と遊びについて理解を深める。 ・現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 		
	6	第3章 高齢者と関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とかかわることの意義、高齢社会の現状と課題について理解する。 		
	7	第4章 社会と関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との支えあい人が幸せに生きていくための仕組みについて考える。 		
2 学期	9 ・ 10	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ・栄養素の種類と働き、からだでの働きについての基礎的知識を習得する。 ・調理の流れ、調理操作を学び、調理技術を習得する。 ・食品の適切な選択・保存方法について理解する。 ・食品の衛生と安全について理解する。 	授業への取り組み 提出物	28
	11 ・ 12	第2章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の起源や歴史、ライフステージごとの衣服について学ぶ。 ・衣服の機能・素材・繊維にはどのような特徴があるのかを学ぶ。 ・衣服の購入、家庭での洗濯方法・保管の方法などについて学ぶ。 ・エプロン製作をつうじて、ボタンつけ・まつり縫い等基本的な裁縫の技術を学ぶ。 		
		第3章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画が出来るようにする。また、平面図の読み取りができるようにする。 		

3 学 期	1 ・ 2 ・ 3	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える 第2章 経済的に自立する	・契約、多様な販売方法問題商法について理解する。 ・様々な支払方法の仕組みや計画的にお金を使うことの大切さを学ぶ。 ・地球温暖化の影響と対策を知り、自分がどのように行動すればよいか考える。 ・短期間の収入と支出の特徴を学び、家計管理の重要性について考える。 ・長期的な経済計画の重要性と貯蓄や負債について学ぶ。	18
-------------	-----------------------	--	---	----

令和4年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	総合的な探究の時間	科目名	必修	総合的な探究の時間	単位数	1	担当者名
教科書								
副教材	自校作成教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	学習「多面的に見る」	プリント学習	プリント 調査をもとに自分の考えを上げることができたか。(思考力・判断力・表現力)	12
	5	学習「多角的に見る」	プリント学習		
	6	学習「つなげて見る」 全体学習 探究活動	プリント学習 アンケート		
	7	探究活動 1学期のまとめ			
2 学期	9	探究活動	調べ学習	調査をもとに自分の考えを上げることができたか。(思考力・判断力・表現力) 自分の考えと他人の考えを尊重しながら班として一つの意見を作ることができたか。(思考力・判断力・表現力・主体性等)	14
	10	フィールドワーク事前指導			
	11	探究活動	調べ学習		
	12	2学期の振り返り 探究活動 学習「分析する」 フィールドワーク			
3 学期	1	調査の分析 修学旅行事前指導	1年間の探究のまとめ	自分の考えと他人の考えを尊重しながら班として一つの意見を作ることができたか。(思考力・判断力・表現力・主体性等)	9
	2	修学旅行事後指導			
	3	調査の分析	1年間の探究のまとめ		